

児童発達支援事業所における自己評価結果(公表)

公表:令和 4 年 3 月 1 日

事業所名 障害児通所支援 あしび

| | | チェック項目 | はい | いいえ | 工夫している点 課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標 |
|----------|----|--|----|-----|--|
| 環境・体制整備 | 1 | 利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である | 5 | 1 | |
| | 2 | 職員の配置数は適切である | 6 | | |
| | 3 | 生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっている。また、障害の特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされている | 5 | 1 | ・階段があるため、完全バリアフリー化が難しい。 (手すり、すべり止めはある) |
| | 4 | 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっている。また、子ども達の活動に合わせた空間となっている | 6 | | ・一日の終わりに使用したものを、触れている場所には必ずアルコール消毒実施している。 |
| 業務改善 | 5 | 業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している | 6 | | ・業務改善に関しては、職員会議等で全職員で話し合い意見を求めて決定するようにしている。 |
| | 6 | 保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている | 6 | | ・アンケートにて保護者の意向を確認し、業務改善につなげている。 |
| | 7 | 事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開している | 6 | | ・ホームページにて公表している。 ・ご家族には公表したことを文書でお知らせしている。 |
| | 8 | 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている | 4 | 2 | ・第三者評価は行っていない。 |
| | 9 | 職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している | 6 | | ・強度行動障害基礎研修を、今年度全職員に受講してもらった。またオンラインで行われている研修等にも参加している。 |
| 適切な支援の提供 | 10 | アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成している | 6 | | ・面談等を通してアセスメントを行い、個別支援計画書を作成している。 |
| | 11 | 子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用している | 5 | 1 | |
| | 12 | 児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援(本人支援及び移行支援)」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されている | 6 | | |
| | 13 | 児童発達支援計画に沿った支援が行われている | 6 | | ・毎日ケース記録とは別に活動の実施内容を記録しているが、個別支援計画書の短期目標に沿った支援の内容を記録している。 |
| | 14 | 活動プログラムの立案をチームで行っている | 6 | | ・活動スケジュールの内容を職員全体で話し合い決定している。 |
| | 15 | 活動プログラムが固定化しないよう工夫している | 6 | | ・記録や朝のミーティング、職員会議、ケース会議などを通して、スケジュールが固定化されないよう工夫している。都度個人のレベルに応じて対応している。 |
| | 16 | 子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成している | 5 | 1 | ・現状、一名の児童しかいないため、個別の活動がメインとなっている。 |

| | | チェック項目 | はい | いいえ | 工夫している点 課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標 |
|--------------|--|---|----|--------------------------|---|
| | 17 | 支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している | 6 | | ・事前に作成している送迎表で職員の送迎場所、当日利用する児童の確認を行っている。また役割分担はマニュアルで確認している。 |
| | 18 | 支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している | 2 | 4 | ・朝のミーティング時、前日の振り返りを行い情報共有している。 |
| | 19 | 日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている | 6 | | ・支援終了後にケース記録を記入している。また、支援の検証・改善は日々実施している。 |
| | 20 | 定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断している | 6 | | ・半年に一度必ずモニタリングを実施し、新たに個別支援計画書の作成を行っている。 |
| 関係機関や保護者との連携 | 21 | 障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している | 6 | | ・必ず児童発達支援管理責任者が参加している。 |
| | 22 | 母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っている | 4 | 2 | ・児童が変化や変更等あった場合には、関係機関の方へ連絡するようにしている。 |
| | 23 | (医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っている | 4 | 2 | ・現在まで、対象者なし。 |
| | 24 | (医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えている | 4 | 2 | ・現在まで、対象者なし。 |
| | 25 | 移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている | 4 | 2 | ・家族を通して幼稚園等での内容を確認しているが、今後電話や訪問等で相互理解を図っていききたい。 |
| | 26 | 移行支援として、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている | 5 | 1 | ・いわきっ子入学支援シートの記載は行っているが、情報共有、相互理解は図れていないため、今後は情報共有を図っていききたい。 |
| | 27 | 他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている | 4 | 2 | |
| | 28 | 保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障害のない子どもと活動する機会がある | | 6 | ・交流したことはないが、今後新型コロナウイルス感染症が終息に向かってきた時には、検討していききたい。 |
| | 29 | (自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加している | 1 | 5 | ・参加できていない為、機会があれば参加していききたい。 |
| | 30 | 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている | 6 | | ・自宅であった出来事を連絡帳に記載して頂いたり、送迎時に事業所での様子を報告するようにしている。また、面談等を行い共通理解を図れるようにしている。 |
| | 31 | 保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)の支援を行っている | 1 | 5 | ・ペアレント・トレーニング等の実施できていない。都度、保護者から相談があった場合には、事業所での対応などの話しをしている。 |
| 32 | 運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っている | 6 | | ・契約時に説明を行い、保護者より同意を得ている。 | |
| 33 | 児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ている | 6 | | | |

| | | チェック項目 | はい | いいえ | 工夫している点 課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標 |
|------------|----|--|----|-----|--|
| 保護者への説明責任等 | 34 | 定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている | 6 | | ・面談時などに自宅での困りごと等確認し、事業所での対応の仕方など話し、支援にも結び付けている。 |
| | 35 | 父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している | | 6 | ・現在実施できていないため、今後新型コロナウイルス感染症が終息に向かってきた時に、実施を検討していきたい。 |
| | 36 | 子どもや保護者からの相談や申し入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申し入れがあった場合に迅速かつ適切に対応している | 6 | | ・相談や申し入れに対しての窓口の説明を契約時に重要事項にて話している。 |
| | 37 | 定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している | 4 | 2 | ・HPを使用して行事等の様子を公開しているが、最近更新できていない。療育中の様子は家族へ直接写真を送信している。 |
| | 38 | 個人情報の取扱いに十分注意している | 6 | | ・契約時に保護者に説明し、同意を得ている。また職員に対しても入職時に同意を得てサインを頂いている。 |
| | 39 | 障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている | 6 | | ・ジェスチャーや絵カード等使用しながら、意思の疎通、情報伝達出来る様配慮している。 |
| | 40 | 事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている | | 6 | ・現在実施できていない。今後新型コロナウイルス感染症が終息に向かってきた時には、検討していきたい。 |
| 非常時等の対応 | 41 | 緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施している | 6 | | ・感染対応マニュアルは現在策定している。また、防犯訓練を定期定期に実施している。 |
| | 42 | 非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている | 6 | | ・年間計画を立て月ごとに防災訓練実施している。 |
| | 43 | 事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認している | 6 | | ・利用前に通院している医療機関、服薬、てんかんの有無等確認している。 |
| | 44 | 食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている | 4 | 2 | ・現在、新型コロナウイルス対策のためおやつを提供していない。また、昼食はお弁当を持参してもらっている。 |
| | 45 | ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している | 6 | | 事故、ひやりはつがあった際には、報告書にまとめ、職員全体に周知している。また、月1回会議を開いている。 |
| | 46 | 虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている | 6 | | ・今年度はR4年3月に実施を予定している。また、令和4年度より義務化される委員会の設置等の内容も職員へ周知していく。 |
| | 47 | どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載している | 6 | | ・現在まで、対象者なし。 |

○この「事業所における自己評価結果(公表)」は事業所全体で行った自己評価です。